

相模原協同病院消化器病センター

外科後期研修プログラム

【指導医】

消化器外科部長	相崎 一雄
外科部長	若林 正和

相模原協同病院消化器病センター外科は、がん拠点病院として消化器癌の外科治療に力を注いでいます。消化器における炎症性疾患から悪性疾患まで幅広い外科治療を行っており、乳腺疾患においても乳腺専門医と連携をとり診療を行っています。

近年の手術件数は増加傾向であり、特に腹腔鏡下手術の件数は大きく増加しています。相模原市民の健康を守ることを使命とし、地域のがんセンターを目指す意気込みで、日々の臨床に取り組んでおります。

後期研修の先生方には、まずは外科専門医の取得、更なるステップとして消化器外科専門医の取得を目指して、充実したスタッフや体制のもと、外科医として研鑽して頂ければと考えております。

【主な症例数】

平成30年の手術件数は、消化器・乳腺外科で843件、ほぼ全例全身麻酔です。代表的な疾患では、胃癌62例、大腸癌118例、乳癌76例、肝胆膵悪性疾患26例、胆石症141例、ヘルニア219例、虫垂切除78例などです。

(後期研修医の1年間手術症例は下記)

【これまでの実績など】

- 1) 外科専門医資格においては既に10名が取得し、現在消化器外科専門医などのサブスペシャリティの取得を目指しております。
- 2) 希望があれば、国内留学、国外留学も可能です。
- 3) 学会発表や研修会には積極的に参加して頂きます。
- 4) 大学院への入学も可能です(既に2名は学位取得しています)。

主たるスケジュール

年数	研修内容
3年目	指導医のもとで手術、病棟を中心に外科的修練を行います。グループ制ではありますが、基本的には術者が主治医のスタンスであり、外来も受け持ちます。 ヘルニア、虫垂炎や胆石症の手術を行い、修練を積んだ上で大腸手術など悪性疾患へステップアップしていきます。
4年目	上記に加え、より高度な手術へと修練を重ねていきます。 週一回の研究日を設け、自分の希望する研修（内視鏡、血管造影など）を行ないます。
5年目	外科医としてさらに多くの経験を積み、外科専門医取得が一つの目標となります。

【2018年実績】

後期研修医1年目から術者として多くの症例を経験していただきます。

通常の研修では後期研修医でも、助手としての参加が多いと思いますが、指導医のもと術者として手術に関与し、外科医として研鑽を積んでいただきます。

後期研修医 卒後3年目 執刀件数 141例

〈腹腔鏡手術〉

- ・腹腔鏡下虫垂切除術 32件
- ・腹腔鏡下胆嚢摘出術 25件
- ・単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術 6件
- ・腹腔鏡下回盲部切除術 3件
- ・腹腔鏡下結腸右半切除術 1件
- ・腹腔鏡下S状結腸切除術 1件
- ・腹腔鏡下低位前方切除術+小腸人工肛門造設術 1件
- ・TAPP 5件
- ・IPOM-Plus 1件
- ・腹腔鏡下内ヘルニア解除術（Lap-Colon後） 1件

〈開腹手術・その他〉

- ・ 開腹虫垂切除術 2 件
- ・ 開腹胆嚢摘出術 7 件
- ・ S 状結腸切除術 4 件
- ・ 結腸右半切除術 1 件
- ・ 回盲部切除術 2 件
- ・ ハルトマン手術 4 件
- ・ 人工肛門造設術 3 件
- ・ Gant-Miwa 手術 3 件
- ・ 直腸ポリープ切除術 1 件
- ・ 痔核根治術 1 件
- ・ 肛門周囲膿瘍切開排膿術 1 件
- ・ 胃全摘術 3 件
- ・ 幽門側胃切除術 2 件
- ・ 胃空腸バイパス術 3 件
- ・ 大網充填術 3 件
- ・ ヘルニア修復術（鼠径部切開法） 13 件
- ・ 臍ヘルニア根治術 1 件
- ・ 腹壁瘢痕ヘルニア根治術 1 件
- ・ 小腸部分切除術 3 件
- ・ 癒着剥離術 2 件
- ・ リンパ節摘出術 1 件
- ・ 陰嚢水腫根治術 1 件
- ・ 乳腺腫瘍摘出術 1 件
- ・ 臍部デブリードマン手術 1 件
- ・ デンバーシャント 1 件

これらの他にも、第 1、第 2 助手として手術に多く関与してもらいます。

※見学希望も随時受け付けていますので若林 (m-wakabayashi@sagamiharahp.com)
までご連絡ください。